

○危機管理担当課長（遠藤孝一）

消防費、消防費、常備消防費、常備消防費で、常備消防組織である足柄消防組合の運営費を負担し、また、小田原市消防に広域化によって、初期投資とデジタル化の整備費負担金を小田原市に支出いたしました。

次に消防団員関係費、非常備消防組織である消防団本部及び7個分団の101名の出勤報酬等を支出いたしました。

県大会に出場した第4分団の経費、また、平成24年度末に退団した勤続5年以上の元消防団員6名に対して退職報償金を支出いたしました。

消防出初め式関係費、出初式を1月13日に開成南小学校で実施いたしました。

3の経常的一般管理費です。消防団にかかる経費として5年以上勤務した者に支給する退職報償金及び公務災害補償に対する掛け金を支出いたしました。

消防施設費の1、消防施設整備事業費です。消防力の維持、向上のため、老朽化した格納箱、ホース及び街頭消火器50本について更新を行いました。消火栓の使用料も負担しております。

三つ飛ばしまして、災害対策費、1、経常的一般管理費です。地域防災力強化のため、防災安全専門員2名を配置し、資機材、トラック等の維持管理を行いました。

2番、防災行政無線関係費になります。災害時に重要な情報伝達手段となる固定系及び移動系の町防災行政無線の点検、バッテリー交換など行いました。

また、テレホンサービスにより確認できる体制を整備いたしました。

J-A L E R Tの緊急起動時間を短縮するため、アナログ信号部分のカットを実施いたしました。

また、県・町の関係の県防災行政無線通信網の運営費を構成町として負担いたしました。

3の防災施設等整備事業費になります。広域避難場所等へ備蓄食料を配備及び災害備蓄品の整備を行いました。新しく県立吉田島総合高校へ防災倉庫を設置いたしました。また、災害用指定井戸の水質検査等を行いました。

46ページ、47ページになります。4の防災訓練関係費になります。9月2日に町防災訓練を実施し、自衛隊、南足柄市及び自主防災会と連携した炊出しに対して、カレーの材料を購入いたしました。

5、自主防災組織育成事業費です。地域防災力の向上のために、自治会から一般公募を行い、また、講師に町専門員を雇い、6回シリーズで防災講座を実施いたしました。

また、平成23年度にブロック塀点検調査を行い、倒壊の危険性が高い14カ所のブロック塀について、耐震診断を実施いたしました。

6、地域防災計画関係費、国・県の防災計画に見直しを受けて、23、24年の2年にわたり、町地域防災計画の改訂を実施いたしました。

○教育総務課長（井上 新）

教育費になります。二つ飛ばしまして、事務局費、経常的一般管理費、主に教職員健康診断や、各種事務機器保守賃借料、各種団体研究会への負担金補助金、学校医や学校歯科医師への支出を行いました。

二つ飛ばしまして、育英奨学金関係費、経済的理由から高等学校の就学が困難な者に対して、奨学金の貸付を行ったものでございます。貸付者3名、返還者3名。

適応指導教室運営費、不登校児童・生徒を対象に、適応指導教室で児童や生徒の個々に応じたきめ細やかな教科指導、臨床心理士によるカウンセリング、集団生活への適応指導等を進め、学校復帰に取り組みました。中学校で1名。

一つ飛ばしまして、ふれあい教育等研究推進費、これは幼小中を研究指定校といたしまして、それぞれの研究テーマに沿って調査研究を行いました。

9、外国人講師派遣事業費、外国人講師2名を開成幼稚園・開成小学校・開成南小学校・文命中学校に派遣をいたしました。

10、外国籍児童・生徒日本語指導事業費、外国籍児童・生徒の日本語を指導するために、外国籍児童・生徒に対し指導員を派遣いたしました。去年は中国語とスペイン語でございます。

1枚おめくりいただきまして、11、心の教室相談事業費、中学校に心の教室相談員1名、週1.5回、4時間派遣をいたしました。相談件数は167件となっております。

12、臨時的一般管理費、これは幼小中の警備管理業務を委託しまして、子どもたちと保護者の安心・安全の確保に努めました。

13、幼小中高体験連携事業費、幼小中及び県立吉田島総合高校・県立小田原城北工業高校の連携により、ものづくり教室、果物・野菜の甘さ調べ、体験学習、お菓子づくり、中学生保育体験、文化祭への出品等多種多様な体験学習を通して、自他ともに生命、自然やものを大切にする心を育み、地域を愛し、感性豊かな人間性の育成を行うとともに、子どもたちの発達段階に応じた教育を進めるとともに、異校種間の教職員による研修を実施いたしました。

14、児童・生徒安全対策事業費、開成町学校地域安全推進委員会によりまして、連携して登校指導、下校時におけるパトロール活動、防犯ベストの配布や「子ども110番の家」の拡大など地域の安全を高める活動を推進いたしました。それと不審者情報等のメールの配信も行いました。去年は配信回数18回でございます。

校務用パソコン配備事業費、現在、開成幼稚園10台、開成小学校32台、開成南小学校26台、文命中学校31台、合計99台校務用パソコンとして、先生方に配付しております。

16、教育改革検証会議等事業費、「開成町教育振興基本計画」の効果的かつ着実に実施するために、開成町教育改革検証会議を開催いたしまして、計画の進捗状況の点検・評価を行いました。

17、就園・就学助成事業費、経済的理由により、就学が困難な児童生徒の保護者に対しまして、学校教育に必要な学用品費・給食費等を援助しました。対象者数

といたしまして児童数が８７名、生徒数６２名でございます。

あと、特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対しまして同様の助成をしておりますけれども、対象者が児童数４名、生徒数４名となっております。

また、所得の低い開成幼稚園の保護者に対して、保育料等の一部を補助しました。また、私立幼稚園の設置者に対し、保育料等の減免をする場合に国で定める範囲内において補助をいたしました。対象園児数といたしまして１３人、内訳といたしまして、公立１人、私立３園１２人という形です。

１８、学力向上推進事業費、これは「ひとりひとりの子どもの可能性が最大限活かされる社会」の実現をめざすため、ＮＰＯ法人と連携をいたしまして、授業サポートなど新しい教育を実践の上学校全体の学力の向上を図りました。

１９、緊急地震速報受信システム装置設置事業、各園・学校に緊急地震速報の受信システムの整備を行いました。

２０、コミュニティ・スクール推進事業費、コミュニティ・スクール【学校運営協議会制度】を小中学校において実施、事業の充実・改善を行いました。

○委員長（井上宜久）

お待ちください。ここで暫時休憩いたします。再開を１３時３０分といたします。

午前１１時５２分

○委員長（井上宜久）

再開します。

午後１時３０分

○委員長（井上宜久）

引き続き、細部説明を順次担当課長に求めます。

○教育総務課長（井上 新）

それでは、４８、４９ページの開成小学校費から入らせていただきます。

２、臨時的一般管理費、開成小学校大規模改修第２期工事を実施した。低学年棟の外壁及び１階５室や管理教室棟２、３階１６室の改修、給食棟の米飯設備の設置、屋内運動場の外壁改修を行い、児童に快適な教育環境を提供した。

また、平成２４年度実施工事の監理業務委託を行った。

３、経常的一般管理費、小学校の運営を円滑に行うために、教材を初めとした消耗品を購入するとともに、生活支援員や低学年授業補助などの人的支援、学校の運営に不可欠な水道・電気・ガスなどの燃料や光熱水の経常的なものや各種機械器具の保守リースを行った。

１枚おめくりいただきまして、４、学校保健衛生費、学校保健安全法に基づき、児童の健康診断、ぎょう虫、尿、心電図など各種検査を実施し、子どもたちの健康の保持増進を図った。

５、パソコン関係費、開成小学校におきましても、平成２４年度にパソコン教室の機器の更新を図り、学校教育におけるコンピュータの有効活用を促すとともに、児童の情報教育の充実を図った。

教育振興費、1の教科運営費、子どもたちの教育環境をよりよいものにするともに、各教科の円滑な運営を行うために、各教科の教材等の消耗品などを購入した。教科備品等を購入することにより、教科等の円滑な運営を図った。

2、教科外運営費、学校教育においては、教科指導のほかに、道徳の時間、特別活動、総合的な学習の時間等による教科外の指導により構成されています。教科外の円滑な運営を行うため、特別活動におけるクラブ活動の消耗品や学校図書館の図書室用図書などを購入しました。

3、各種行事開催費、開成小学校においては、子どもたちの実情に応じ、多種多様な学校行事を行っています。例えば、入学式、卒業式や運動会などの学校行事における消耗品を購入いたしました。

4、経常的一般管理費、郡小学校連合体育大会や郡小学校音楽会などの野外教育活動補助や教育研究会費負担金など各種負担を行っております。

5、総合的な学習推進事業費、「総合的な学習の時間」を活用し、あじさい祭への協力や福祉の学習、環境教育を実施いたしました。

学校給食費、1、経常的一般管理費、学校給食法に基づき、児童の心身の健全な発達に資し、かつ食生活の改善に寄与するために、学校給食を実施した。また、衛生的かつ安全な給食運営を通じ、子どもたちの安全・安心な環境を維持していくために、非常勤給食調理員の確保や必要な衛生用品、調理用品等を購入した。

2、臨時的一般管理費、衛生的かつ安全な給食運営を通じ、子どもたちの安全・安心な環境を維持していくために、学校給食を実施するうえで、不可欠な調理器具の修繕や、給食運搬車などの給食備品の購入を行った。

学校につきましては、学校管理費、学校振興費、学校給食費と、開成小学校のみならず、開成南小学校、文命中学校、開成幼稚園、ともに同様の内容でございますので、開成南小学校からはポイントでお話をさせていただきます。

開成南小学校の学校管理費の4番、臨時的一般管理費、開成南小学校の子どもたちの快適な教育環境を整備する観点から、書画カメラや、拡大印刷機の購入をするとともに、体育館に校歌額の設置を行った。

1枚おめくりいただきまして、今度は中学校費になります。中学校費の学校管理費、2の臨時的一般管理費、子どもたちの安全・安心を守る観点から、学校施設の適切な維持管理を行いました。また、消防設備や、放送用チャイム等の修繕を通じ、生徒に快適な教育環境を提供しました。

中学校費の教育振興費の6の教科用図書購入費、平成24年度から中学校学習指導要領の全面実施に伴いまして、新しい教科書が使用されましたために、教師用の教科書、教師用の指導書、教材を購入いたしました。

中学校費の学校給食費の2番目の臨時的一般管理費、学校給食を実施する上で必要な給食備品の購入や給食室用エアコンを設置いたしました。

幼稚園費2の臨時的一般管理費、開成幼稚園の適切な維持・管理を行う観点から、園舎テラスシート交換及び塗装を実施し、幼児の快適な教育環境を提供いたしまし

た。

1枚おめくりいただきまして、幼稚園管理費の3の経常的一般管理費、幼稚園の運営を円滑に行うために、育休代替臨時教諭及び臨時栄養士、生活支援、事務員、幼稚園バス運転員等、非常勤職員の雇用、消耗品の購入、幼稚園の運営に不可欠な水道・電気・ガスなどの燃料や光熱水の経常的なものや、各種機械器具の保守リースを行いました。

5ののびのびルーム事業費、子育て支援事業の一環として、3歳児を対象としたのびのび子育てルームを実施しております。南部コミュニティセンターで週5日間子どもの健やかな成長を図るとともに、育児中の保護者に子育ての喜びを共感できる仲間づくりを支援するために、うた、手遊び、絵本、紙芝居、わらべうた、体操、散歩、集団遊び、臨床心理士による子育て相談、お楽しみ会などを実施いたしました。3歳児の参加者が95名です。

続きまして、社会教育費、2の生涯学習推進事業費、町民センター講座、36講座・121回開催をいたしまして、延べ1,254名の参加を得ました。また、3歳児学級は年6回・延べ152名の参加を得ています。幼小中家庭教育学級は14講座・延べ807名の参加を得て、開催をいたしました。

文化財保護関係費、こちらのほうは、昨年は開成町の戦争体験の冊子を文化財保護委員会のほうで作成をされております。

経常的一般管理費、社会教育専門員1名の賃金のほかは、婦人会、子ども会、母親クラブなどに補助金を出しております。

5、青少年健全育成推進事業費、青少年指導員14名の報酬、青少年指導員の活動といたしまして、手づくり広場、あじさい祭に参加をしたりとか、パトロールを年7回開催、サマーキャンプとして「国立中央青少年交流の家」に2泊3日で45名子どもが参加をしております。

ジュニアリーダー研修、瀬戸屋敷で1泊2日の研修をいたしまして、19人参加をしております。

中学生地域交流ゲートボール大会は、173名の参加で実施をいたしました。

6の放課後子ども教室推進事業費、子どもたちの安全・安心な活動拠点を設け、地域の方々の協力を得て、スポーツや文化活動などの様々な体験活動や学習活動等の取り組みを推進いたしました。放課後に開成小学校の体育館、余裕教室等を活用して、週1回実施をいたしました。

公民館費の1、図書室運営費、年間図書購入費といたしまして1,765冊、昨年は購入いたしました。あと図書室の非常勤の賃金、それと図書システムの管理費、開室日数は296日開室いたしました。入館者数が2万1,305名、貸出冊数が3万751冊、一日平均103冊、累計の登録者が8,017人、現在の蔵書数は3万5,811冊でございます。

○自治活動応援課（岩本浩二）

続きまして、保健体育費、保健体育総務費、生涯スポーツ推進事業費になります。

こちらにつきましては、各種スポーツ関係教室といたしまして水泳教室、開成スポーツパートナーズとの共催によります熱中症セミナーなどの教室を実施いたしました。

また、体育協会等への活動助成に加えまして、郡総体とかながわ駅伝、こちらの出場選手への旅費を助成したものでございます。

続きまして、スポーツ・レクリエーションフェスティバル開催費、こちらにつきましては、雨天によりまして、スポレクフェスティバル自体は中止とさせていただきますけれども、男子ソフトボール大会、少年サッカー大会、スポーツフィッシング体験教室の3種目につきましては実施をしたものでございます。

次ページ、56、57ページをお開きください。一つ飛ばせていただきまして、体育施設費、町民プール維持管理費になります。町民プールの一般開放にかかる経費に加えまして、町民プールの循環浄化装置自動エア抜き弁の修繕工事を実施いたしました。

続きまして、体育施設等維持管理費、こちらにつきましては、金井島緑陰広場の除草・トイレ清掃・遊具保守点検、それに加えまして文命中学校、開成南小学校グラウンドの夜間照明の保守点検を行ったものです。

開成水辺スポーツ公園管理事業費、こちらにつきましては、開成水辺スポーツ公園の管理運営を指定管理により行いました。それとバラ園コースの開放等によりまして、増収が伴ったというようなことで、指定管理料を81万8,000円減額してございます。

○財務課長（加藤順一）

款公債費、目元金、町債元金償還金です。平成24年度町債残高53億1,445万1,000円に対します元金の返済金でございます。その下の利子につきましては、同じく利子返済分でございます。

○危機管理担当課長（遠藤孝一）

諸支出金、公営企業支出金、水道事業支出金、1の消火栓設置費負担金でございます。新規の負担はございませんでした。消火栓ボックス交換、消火栓蓋交換各1カ所及び消火栓修繕2カ所にかかる工事費を負担いたしました。

○財務課長（加藤順一）

項基金費、財政調整基金費、財政調整基金積立金、前年度決算剰余金を財源として補正予算第2号により当初予算で予定した5,000万円の取り崩しをやめた上に1億円を積み立て、加えて金融機関預け入れにより生じた利子を積み立ててございます。

減債基金については省略させていただきます。

○街づくり推進課長（熊澤勝己）

災害復旧費、公共土木施設災害復旧費でございます。道水路災害復旧費、平成24年7月の台風4号により被災しました道水路の復旧に要した費用です。

○財務課長（加藤順一）

続きまして、決算書のほうでご説明させていただきます。決算書は146ページ、147ページになります。

13款予備費のところになります。予備費につきましては、事業の円滑な執行のため、1,640万円2,746円を各事業のほうに充当していきます。備考欄で整理してございますが、この中で特に金額の多いものだけを選んで説明させていただきたいと思います。次のページ、149ページをお開きください。

まず上から三つ目、総務費・総務管理費・一般管理費・負担金、補助及び交付金へ153万5,514円、これは公平委員会事務委託費負担金に対して予備費を充当したものでございます。

中段より下、総務費・徴税費・賦課徴収費・負担金、補助及び交付金へ69万2,188円、これのうち69万1,400円は、生命保険年金にかかる特別返還金、こちらに充用しています。

その1項目下の記載の総務費・徴税費・賦課徴収費・償還金、利子及び割引料へ63万4,704円は、税等還付金予算現額500万円に対して不足額を充用したものでございます。

次の151ページをお願いします。上から8項目、消防費・非常備消防費・報償費へ138万4,287円は、退職消防団員に対する退職報償費に充用しています。

一番下の項目、災害復旧費・公共土木施設災害復旧費・公共土木施設災害復旧費・工事請負費へ、92万3,000円の充用は、台風4号にかかる被害復旧に充てたものでございます。

歳出の説明は以上ですが、続いて、152ページをお願いいたします。次のページです。実質収支に関する調書です。

歳入総額54億2,764万4,000円、歳出総額51億9,026万円、歳入歳出差引額2億3,738万4,000円、翌年度へ繰り越すべき財源のうち、(2)繰越明許費、繰越額4,376万6,000円。

5番の実質収支額は1億9,361万8,000円になります。

次に財産に関する調書についてご説明いたします。黄色い表紙の次のページ、154ページをお開きください。財産に関する調書、1、公有財産(1)土地及び建物、増減のあったものについて、ご説明申し上げます。土地(地積)の部分、一番左側の項目で公共用財産、その他の施設、これが66.6平方メートル増となっております。これは松ノ木河原地区ごみ集積施設14カ所分が平成18年組合から町へ帰属しておりましたが、その際にこちらでの記載が漏れておったことが判明しましたため、今回計上するものでございます。

次に、普通財産、宅地、160.80平方メートルの増、消防広域化に伴いまして、松田分署用地の所有権移転がありました。895.82平方メートルのうち、開成町持ち分の1万分の1,795について、本町の財産として計上したものでございます。建物につきましては、木造、非木造ともに増減はございません。

下の表です。(2)有価証券等出資による権利につきましては、年度中の変動は

ございませんでした。

次の156ページからは、2番、物品になりますけれども、この物品につきましては、重要備品のみの記載としてございます。ただ、前年度末現在高は20万円以上で整理しておりましたが、決算年度末現在高はこれを50万円以上としてございます。特段の説明は省略させていただきまして、164ページをお願いいたします。

3、債権、（1）育英奨学金貸付金につきましては、平成24年度中に72万円を新たに貸付、16万5,000円の返済を受けまして、差し引き貸付は55万5,000円の増、残高は52万2,000円です。

（2）国民健康保険高額療養費貸付金は、年度中に1件、100万円の貸付、また、年度中に同額の返済を受けましたので、増減はゼロ、年度末現在高もゼロとなっています。

4番、基金です。（1）育英奨学金、育英奨学金につきましては、貸付の増加分を基金から取り崩しまして、55万5,000円の減、現在高は2,045万2,000円です。（2）学校校舎等整備基金は、開成小学校大規模改修工事に充てるため、4,800万円を取り崩し、利子分1万4,000円弱を積み立てまして、決算年度末現在高は1億2,743万5,000円となっています。

財政調整基金です。平成24年度当初予算では5,000万円を取り崩す予定でしたが、逆に9月補正で決算剰余金から1億円を積み立て、年度中の利子分14万6,000円を加えて、年度末残高は6億6,862万4,000円となっています。

4番、社会福祉基金です。重度障害者医療、ひとり親家庭医療費の自己負担分45万3,000円を基金から取り崩し、差し引き738万6,000円が残高になります。

続いて、次のページをお願いします。165ページでございます。5番、国民健康保険高額療養費貸付基金、これは変動がございません。その下、6番の国民健康保険財政調整基金も変動はございません。

7番、減債基金です。利子収入分4万2,000円を積み立て、現在高は1,273万5,000円となっています。8番、商工振興基金と9番、高額介護サービス費貸付基金、これについても変動はございません。

10番、介護保険財政調整基金は2,045万8,000円増の残高は、3,004万4,000円です。

11番、教育振興基金は増減ありません。次のページをお願いいたします。

12番のあしがり郷瀬戸屋敷基金は、平成22年度に創設された基金です。130万円のご寄附をいただき、積み立てています。残高は390万円となっています。

13番、開成の夢を育てるあじさい基金も、平成22年度中に創設された基金ですが、31万6,000円の寄附をいただき、基金を積み立てました。現在高は103万2,000円です。

14番、公共施設整備基金は、公共施設の建設、改修、その他の整備資金を積み

立てるために、平成２４年度新たに設置した基金です。予算により１億円余を積み立ててございます。この基金の表中、各年度末残高を四捨五入して記載してございます。前年度の記載と比較増減して、３年度中の増減高をあらわしてございますので、歳出決算額の中としては、１，０００円単位で一致しない場合がございます。

以上で一般会計の説明を終了させていただきます。

○委員長（井上宜久）

以上で認定第１号 決算認定について（一般会計）の説明が終了いたしました。